

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1951380003		
法人名	医療法人 社団 青虎会		
事業所名	グループホーム はまなす		
所在地	山梨県南都留郡富士河口湖町船津2207		
自己評価作成日	平成21年11月27日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyo-yamanashi.jp/kaigosip/Top.do
----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	山梨県社会福祉協議会		
所在地	甲府市北新1-2-12		
訪問調査日	12月24日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

観光資源、自然環境に恵まれた立地条件の為、各種イベントへの参加や、充実した外出機会を設けやすく、実際に、外出機会も多く、入居者は活動的である。ガーデニングや畑仕事を入居者と一緒に行い、収穫時には採れたての野菜を、調理し召し上がっていただいている。リスクマネジメントの取り組みとして、気づいたことを、その都度、ヒヤリ・はっとシートに記入し、入居者の危険を事前に防止するよう努めている。家族との連絡を密にし、要望、クレーム等には、特に傾聴し、家らしい生活が出来るよう努力している。自治会に加入し、イベントや町の清掃へ参加し、入居者が地域の一人として生活していたけようにしたい。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

周辺は自然環境に恵まれた観光地で、散歩やドライブに行く機会も多く、日帰り旅行等の他、個々の希望や要望は、可能な限り支援を惜しまない。食事は利用者の希望を取り入れた献立で、準備から片付けまで一緒に行い、職員は味付けや豆の煮方、調理法等を学ぶことも多い。また、畑で採れた季節の野菜も食卓の彩りを添える。重度化や終末期支援についての体制は、確立されている。利用者の状態に変化がある時は、家族やかかりつけ医、併設老健の医師と看護師と、対応について話し合いをする。毎日、看護師が健康チェックに訪れている。配慮ある環境の中、その人らしく暮らしている利用者の表情は明るい。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホーム内に「地域の方々と共に、ゆっくり一緒に楽しく豊かに」という理念を掲示し、地域密着型サービスの意義を、職員全員が理解し、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスを展開している。	地域密着型サービスの意義と役割を確認し、「地域の方々と共に、ゆっくり一緒に楽しく豊かに」と書かれ掲示している。事業所独自で作った理念を全職員が共有し、その人らしく暮らし続けるよう実践につなげている	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	隣接住民が、散歩がてらホームに立ち寄りくださったり、近所の子どもたちも、気軽に遊びに来て、入居者様と交流している。納涼祭には自治会の方々も多数おいでいただいている。自治会加入し、地域清掃活動、イベントや祭りに準備から積極的に参加している。	自治会に入会、運動会や神社の祭に参加、公民館まつりには準備から参加(ほうとう作り)、毎週近くの公園を清掃、その他中学校との交流があり、訪問を受けたり、学校まで太鼓を聞きに行ったりしている。近隣住民や子供達も気軽に立ち寄り交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	公園、公民館のゴミ拾いを率先してやり、活動的に行動し、地域高齢者の活動意欲を啓発している。地域へ外出し、地域のみなさんとふれあい、お互いを知る機会を増やしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	自治会長、町役場、地域包括支援センターの方々にお越しいただき、入居者様の活動状況や、評価への取り組み状況を報告し、たくさんの貴重な意見を頂きながら、意見交換し、サービス向上につなげている。	2か月毎に開催、議事録がある。防災訓練に参加したメンバーから、スリッパの危険性、煙対策にタオルを準備、身近のフライパンをたいて誘導、近隣の協力の必要性等意見が出された。今後の取り組みとして考えている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村とは、密接に連絡を取り協力している。	地域住民のホーム利用開始の際、相談やアドバイスをいただいたりしている。また、待機者の状況について話し合う等、常に情報交換をし、密接な関係が保たれている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	開設当初より身体拘束は一切行っていない。拘束によるダメージを周知徹底している。スピーチロックについても全職員で話し合い、取り組んでいる。日中玄関に鍵をかけることはない。職員も入居者様とともに生活しているので、外へ出て行かれるときも、一緒に行動している。玄関にドアベルをつけることで、離設の危険を即座に回避している。入居者が自身の思いを言い出しやすいように、声かけや雰囲気づくりに気をつけている。	全職員が身体拘束をしないケアの理解を共有し、実践につなげている。玄関は日中鍵はかけず、ドアベルにて入出の確認をしている。ベットからの転倒者があり、それを機に厚いマットレス使用に替えた。スピーチロックの研修会を受講、参加者は全職員に内容を周知し、ホーム内でもスピーチロックに当たる言葉について話し合った。日常的に仲間同士でも気がつきがあれば確認し合っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修、勉強会に参加し学んでいる。研修や勉強会へ参加した職員は、他職員へ伝達し、都度日々の生活・ケアを見直している。職員同士、日々のケアで迷うことはお互いに声を掛け合い、相談しあうようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修、勉強会に参加し学んでいる。研修や勉強会へ参加した職員は、他職員へ伝達し、都度日々の生活・ケアを見直している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	書面にて十分な説明を行い、理解・納得の上で同意を得ている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情窓口は、重要事項説明書に記載しており、第三者の窓口も同様である。契約時に口頭でも説明している。意見・苦情には、迅速な対応をし、サービス改善に努めている。	契約時に重要事項説明書にて苦情窓口を伝え、面会時にも日常生活を報告したり、気軽に言ってもらえるよう伝えている。金銭の収支も明記されている。苦情事例はないがマニュアルもあり、迅速対応の体制が整っている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見は、受け入れている。毎週の検討会にも参加し、入居者の対応について心配なことを相談している。また、入居者にとって、良いこと、必要なことは迅速に変更し対応するように、声を掛け合い、申し送りノートを活用し、全職員が統一して改善していけるようにしている。	月1回のミーティングや毎週実施の検討会では、職員の現場での気づきやアイデアの提案を実践につなげている。リスクマネジメントについても話し合い、迅速な対応に努めている。会議への欠席者や引き継ぎは、申し送りノートにて内容が確認でき、ケアにつなげている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	常に働きやすい職場を目指し、声掛けを行っている。相談に対し迅速な対応を心がけている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全国GH協会、県GH協会に加盟しており、それぞれの職員に応じた研修に参加している。研修後は、報告会を実施して全ての職員が周知出来るようにしている。また、学習委員会を中心に月1回は、勉強会を実施している。参考になる書籍をおき、いつでも読めるようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH協会の研修等に参加し、業務上の悩みを話し合っている。また職員の親睦会にも参加し意見交換をしている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	必ず入居前には訪問調査を行い、入居者様の状態の把握と不安や悩み、要望の聞き取りをしている。入居前の担当介護支援専門員や地域包括支援センターより情報を聞き取るようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	必ず入居前には訪問調査を行い、入居者様とともにご家族の不安や悩み、要望の聞き取りをしている。家族構成、生活暦等をふまえて対応している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族からの情報をもとに見極め支援している。GHの説明を十分に行い、入居前には、実際に見学に来ていただき、お茶のみをしたり、雰囲気を知っていただくようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様の立場となり考え、入所者様のペースで生活できるよう支援している。食事作りや漬物作り等、入居者様とともに調理方法や味付け等を教えていただいたりしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の持っている悩み、不安を共有し、入所者様と一緒に支えていく関係を築いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者の大切な人とのふれあいとして家族交流会や納涼祭等の行事に、参加を呼びかけている。また、入居者の自宅や、行きたい場所などへの外出支援をしている。馴染みの方の通夜へ行くこともあり、馴染みの地域の方と会う機会をもっている。	家族交流会や納涼祭に友人にも参加を呼びかけている。仕事仲間だった人と会う機会を作ったり、友人の通夜に行ったり、墓参り、仲のよい利用者同士で、甘味を楽しみに行く、自宅に風を入れに行く等支援を惜しまない。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様の一人ひとりの性格を把握し、職員が中間役となり、入居者様全員で支えあい生活出来るよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も、ホームに遊びに来ていただいたり、近況報告をしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話の中で意向の把握に努めている。また、良い表情をされていたり、喜ばれていることを一人ひとり把握し、職員間で申し送りを行っている。	日々の会話や表情、暮らしぶりの中から把握はできるが、困難の場合は家族に協力を求め、面会をお願いしたり、詳しい生活歴をうかがい把握に努める。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居される前に訪問調査し、全てにおいて、ご本人、ご家族から情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居前される前に訪問調査して、入居者様一人ひとりの状態を把握している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者、家族の要望を聞き取り、全職員が共通のシートを用いて共有している。また、介護ミーティングにおいて意見交換をかわし作成している。随時見直しを行い、状態変化時には早急に見直しを行っている。	本人や家族の意見を聞き、計画書を作成、全職員が内容を共有している。毎月ミーティングにて意見交換をし、欠席者は議事録にて確認する。状態に変化ある時は、随時見直す。見直し毎に、家族よりサインを受ける。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の出来事や状態は、毎日具体的に記入している。また、ヒヤリ・はっとシートにも記入しケアプランに反映している。申し送りにて日々の変化を詳しく把握し、情報の共有・実践・介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	併設施設と協力し合い、柔軟な対応をしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	家族交流会や納涼祭等を企画することにより、多方面のボランティアの方々やご家族、近隣住民に参加していただいている。日常的に近隣施設等も利用している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、ご家族が希望される医療機関へ受診されている。	個々にかかりつけ医がおり、定期検診、通院は家族と一緒にいく。家族が遠方の場合は話し合いで職員が付添っている。受診結果は個別にファイルされ、職員は内容を常に確認しケアにつなげている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	併設施設の看護師の協力が得られている。少なくとも1日1回は入居者様の健康状態のチェックに来てもらっている。また、夜間帯もすぐに相談でき対応できる状況にある。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主治医やご家族に話しを聞き、連携を図っている。入院した場合は、すぐ様子をみに行き病院関係者と協力し合っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に本人、家族の意向を聞き、かかりつけ医、併設老健の医師等と連携を取っている。カンファレンス、ミーティングを随時行っており、入居者の状況確認をしながら、チームの連携を図り支援を行っている。	契約時に本人・家族に意向を確認している。重度化や終末期の在り方を状況確認をしながら、家族やかかりつけ医、併設老健の医師と連携を図り、話し合っている。併設老健の看護師が、毎日利用者の様子を確認訪問するなど、支援体制が確立されている。看とり一例有り。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	勉強会や研修の参加、また管理者からの指導により応急手当を出来るようにしている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練や夜間の呼集訓練と、さまざまな状況を想定して、日々訓練している。町の消防署の協力を得たり、運営推進会議にても協力をお願いしている。	3か月に1回、昼夜想定の実施、特に夜間誘導の順位が課題である(命の優先等)。年1回、消防署の指導により併設老健と合同で実施。地区の組長、民生委員も参加。マニュアル連絡網がある。	職員だけの誘導(特に夜間)には限界があることを考慮に入れ、地域住民(特に隣接民家)に災害対策の理解を求め、協力体制を築くことが望まれる。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者一人ひとりに合わせた対応をし、入居者の快い生活を求めて介護に従事している。個人情報の取り扱いには十分配慮している。	トイレへの声かけは耳もとで、失禁の多い人には、トイレにさり気なくパットを置く、自分で洗濯をする人には、気づかれないよう再度洗っておく等、個々のプライドを傷つけないよう支援に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	献立は入居者様の食べたいものを相談して決め、買物時希望する食材があれば献立を変えたり、外出希望があれば外出するなど入居者様の自己決定を大切にしている。職員からも提案し入居者様の気持ちを汲み取るようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員のペースで仕事をするのではなく、入居者様の立場となり考え、入居者様のペースで生活できるよう支援している。タイムテーブルはなく一人ひとりの生活のペースを把握するようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入居者様の希望を第一に考え、個性を大切に支援している。また、入居者様一人ひとりに合わせ理美容院を利用しており、入居者様の希望にそった髪型にしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は、入居者一人ひとりの出来ること、好きなことを考慮しながら、一緒に準備、片付けを行っている。また、食事も常に一緒に食べており、入所者が、おいしく召し上がられるよう、心がけサポートしている。	準備から片付けまで一緒に行い、楽しい雰囲気づくりに努め、一緒に食べている。希望を聞き、季節感のある食材で、個々の好みや状態に合わせて、調理を工夫している。献立は併設老健の管理栄養士のチェックを受ける。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	併設の栄養士に相談したり、水分摂取はこまめに職員が働きかけ、水分摂取量の少ない入居者様には積極的に声かけしている。また、日頃より水分摂取の大切さを入居者様に話している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、職員の目がいきとどくフロア洗面所にて入居者様に合わせた口腔ケアを行っている。眠る前に必要な方には義歯の洗浄の声かけや介助を行っている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	入居者に合わせ、リハビリパンツやパットを使い分け、自分でトイレに行くことの少ない方には、自立に向けて随時トイレ誘導を行っている。失禁があっても、パット使用への抵抗がある方には、自尊心を傷付けぬよう、トイレにパットを設置し、自然と使ってもらえるよう工夫している。	トイレ誘導を随時心がけることで、多かった失禁が改善されたり、パット利用者も、使用数が少なくなったことが確認されている。パット使用を拒む利用者には、さりげなくトイレに置き自由に使えるよう工夫している。ポータブル利用者には夜間のみ使用する。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防として、毎朝牛乳を飲んでいただいたり、お風呂上りや散歩後など適時ヤクルトを飲んでいただいている。また、可能な限り散歩へ行くよう心がけている。食事便秘予防のメニューを配慮している。主治医へ相談し服薬されている方もいる。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	いつでも入れるようになっている。利用者の好む時間帯を把握して、声かけしている。拒否する利用者には、家族に声をかけてもらう等工夫をしている。	いつでも自由に入浴でき、特に時間帯は決めていない。個々の希望時間や入浴温度を把握しているので、声かけをして入浴してもらう。拒否が続く場合は、家族に相談したり、足浴、清拭、着替え等に対応する。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様一人ひとりの健康状態、生活リズムに気をつけ、個々に休息が取れるよう支援している。夜間眠れない入居者様には、日中の活動を増やし生活のリズムが出来るよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様一人ひとりの薬説明書のファイルを作りすぐに確認が出来、理解できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居される前に生活歴の情報を得て、それをもとに好きなこと、得意なことを活かした出番を見い出せるような場面作りの支援をしている。季節に合ったイベントや料理を取り入れ、今を楽しみ感じていただくようにしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物や散歩には、ほぼ毎日出かけている。入居者の希望する所には、可能な限り出かけている。不穏時は、希望の場所や馴染みの場所へ外出するよう心がけている。温泉旅行や桃狩り等、家族とともに出かける機会を作っている。日々の何気ない会話から「〇〇がしたい」、「〇〇へ行きたい」という気持ちを聞けた時には、実現できるよう支援している。	日常的な買い物や散歩のほか、昔馴染みの商店まで行ったり、不穏解消のため、望みの場所に行くこともある。自然いっぱいのある有名観光地でもあり、四季を十分に楽しめる。その他、日帰りで温泉旅行、外食、桃狩り(車椅子可)、イチゴ狩り、お花見等家族と一緒に出かける。日々の会話の中から希望を汲み取り、可能な限り支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は、ご家族の希望もあり職員が行っているが、入居時に馴染みの財布を持ってきていただき、買い物時に入居者様から支払ってもらう等の支援をしている。お金を持ちたいと希望される方には、ご家族の了解を得て、一定の金額を自己管理していただいている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者様より電話をかけたい、手紙を出したいと希望のある時は、その都度支援している。手紙が届いた際にはご本人に返事を書いていただき、手紙のやり取りをされている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	夏場は日よけに、よしずを立てかけ、冬場はこたつや石油ストーブを出すなど、居心地良く家庭的な雰囲気づくりを心がけている。玄関や居間など、季節折々の花を飾り、季節感を取り入れている。	ソファやテーブル調度品が置かれ、小上がりの畳部分がある。大きな窓からは植木が見える。壁面には利用者の毛糸の手編み作品が飾られたり、神社のお札もはってある。明るく心地よい空間の中で、その人らしく自由に過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングはソファとこたつに分かれており、自由な時間を過ごすことが出来ている。玄関先のポーチ部分や二階廊下には、椅子を置き、入居者様の団欒の場となっている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時には、使い慣れた用品を持ち込んでいただくようにしている。また、必要なものはその都度、用意して頂いているので、入居者様は安心して過ごされている。	表札は木片を用い、横に本人や家族の写真も掛けてある。ベット、マットレス等個々に合った寝具のほか、馴染みの品々が置かれ、自作の手編みカバーをつけたクッションも目を引く。家族と協力し、その人らしい部屋づくりがなされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホームの要所には手すりが設置してある。流し台は、作業しやすいように低くなっている。また、立ったまま靴を履くことが困難な入居者様が多いので、玄関には椅子を置いている。浴槽内にも転倒防止のため、滑り止めマットを敷いている。立ち上がりの困難な方には、浴槽内の椅子を使用している。		